

統計

入院患者の満足度調査結果

Satisfaction survey results from inpatients

石田 明美 田中 美和 根本 まり子
Akemi Ishida Miwa Tanaka Mariko Nemoto

要 旨

当院では「ひとりひとりに関心をもち、もてる力を高め、誠実な看護を実践します」「地域の親しまれ、安心できる看護を実践します」を看護部理念とし、患者満足の上昇に役立てる事を目的とし、入院患者の満足度調査をアンケート方式により実施している。

平成26年度・平成27年度の結果を比較検討したのでここに報告する。

はじめに

当院では、患者が求める環境や看護サービスを目指すために、入院患者の満足度調査を実施している。

施設・入院環境・看護師をはじめ病院職員の対応などを、アンケート結果を前年度と比較し、評価や満足度を把握した結果を報告する。

I. 調査方法

アンケート用紙による調査。無記名で記入した用紙を封筒に入れ、平成26年度は13部署10名ずつ実施し、回収したが、H27年度は調査日を設定し、その日に入院していた患者全員に実施し、回収した。

アンケート調査方法を1日限定と変更したため、前年度と比較し、回収率が低い結果となったと考えられる。

患者満足度調査（平成26年度と平成27年度の比較）

1. アンケート回答者

	H26年度	H27年度
本人	87	110
代理人	8	15
無回答	9	2

2. 回答者性別

	H26年度	H27年度
男性	54	50
女性	47	75
無回答	3	2

1) 調査期間

平成26年10月20日～10月24日（5日間）配布・実施・回収

平成27年7月21日のみアンケート配布・実施
回収平成27年7月22日～7月31日（10日間）

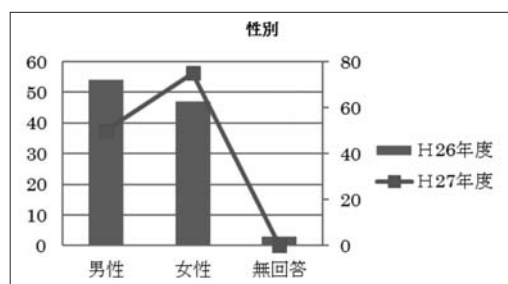
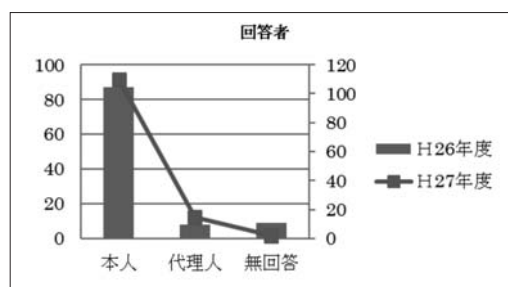
2) 倫理的配慮

アンケートは全体としての統計処理を行い、個人の情報として使用するものではないことを説明した。

II. 結果（資料参照）

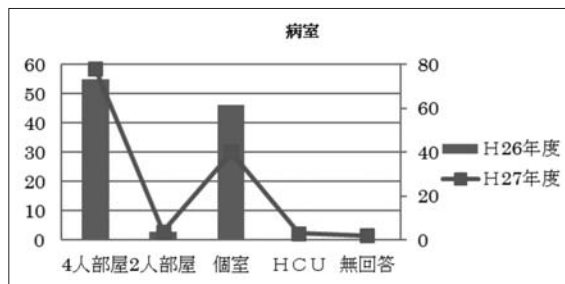
平成26年 アンケート配布数110名
回収104名（回収率94.5%）

平成27年 アンケート配布数145名
回収127名（回収率87.5%）



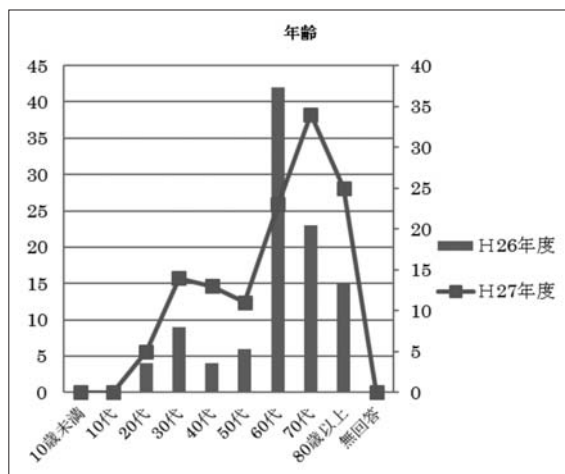
3. 病室

	H26年度	H27年度
4人部屋	55	78
2人部屋	3	4
個室	46	40
HCU	0	3
無回答	0	2



3. 病室

	H26年度	H27年度
10歳未満	0	0
10代	1	0
20代	4	5
30代	9	14
40代	4	13
50代	6	11
60代	42	23
70代	23	34
80歳以上	15	25
無回答	0	0



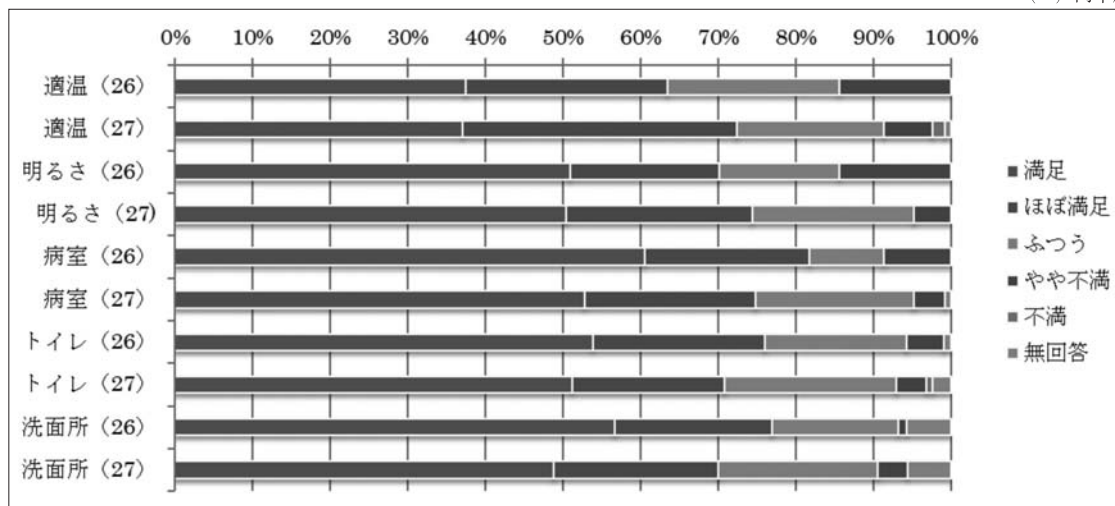
(1) 施設・入院環境について

- ①病室の設定温度は適温ですか？
- ②病室や廊下の明るさは適切ですか？
- ③病室の清掃はいきとどいていましたか？
- ④トイレの清掃はいきとどいていましたか？
- ⑤洗面所の清掃はいきとどいていましたか？

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
適温 (26)	39	27	23	15	0	0
適温 (27)	47	45	24	8	2	1
明るさ (26)	53	20	16	15	0	0
明るさ (27)	63	30	26	6	0	0
病室 (26)	63	22	10	9	0	0
病室 (27)	67	28	26	5	0	1
トイレ (26)	56	23	19	5	0	1
トイレ (27)	65	25	28	5	1	3
洗面所 (26)	59	21	17	1	0	6
洗面所 (27)	62	27	26	5	0	7

() 内年度



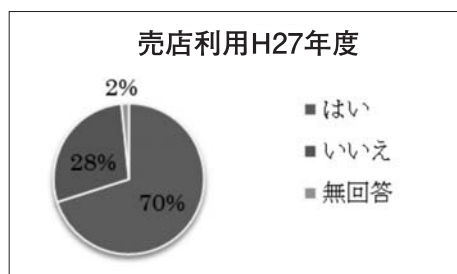
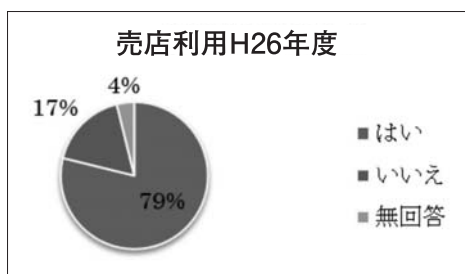
入院環境では、①～⑤に関して、不満などの回答は少なく、満足ほぼ満足が65%～70%と言う結果が得られた。

⑥売店をご利用になりましたか？

(ア) 品揃えはいかがですか？

(イ) 対応は迅速ですか？

売店利用	H26年度	H27年度
はい	82	89
いいえ	18	36
無回答	4	2

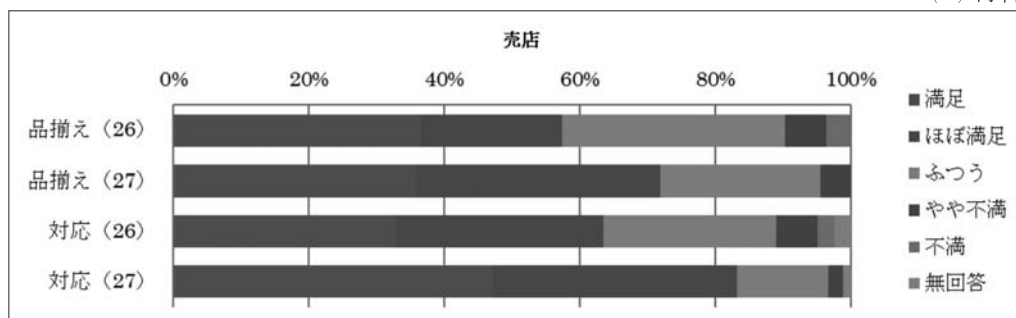


(はいと答えた人に対するの質問)

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
品揃え (26)	30	17	27	5	3	0
品揃え (27)	32	32	21	4	0	0
対応 (26)	27	25	21	5	2	2
対応 (27)	42	32	12	2	0	1

() 内年度



⑦給食に関してお尋ねします

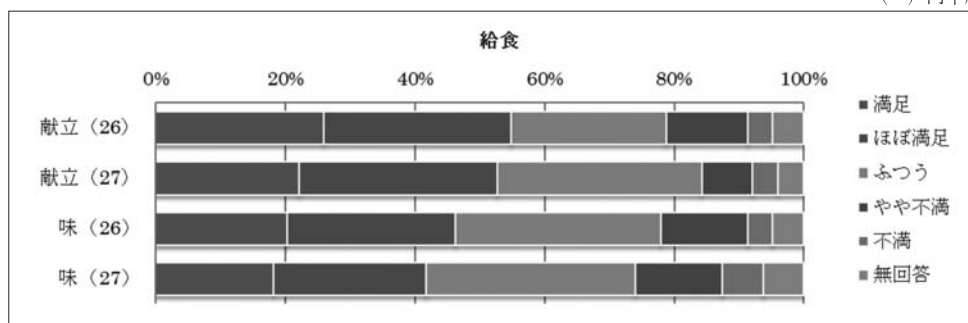
(ア) 献立の内容はいかがですか？

(イ) お味はいかがですか？

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
献立 (26)	30	17	27	5	3	0
献立 (27)	32	32	21	4	0	0
味 (26)	27	25	21	5	2	2
味 (27)	42	32	12	2	0	1

() 内年度



売店に関しては、対応が前年度より満足度がアップしている。

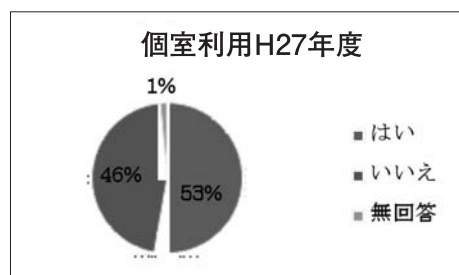
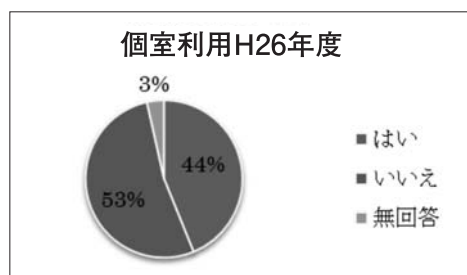
給食については、献立・味ともに満足・ほぼ満足がH26年よりH27年の方が若干下がっており、味に関してはH27年の方の不満が若干多い。

⑧個室をご利用になりましたか？

(ア) 個室の環境に満足されましたか？

(イ) 個室の料金に満足されましたか？

個室利用	H26年度	H27年度
はい	51	67
いいえ	48	58
無回答	5	2

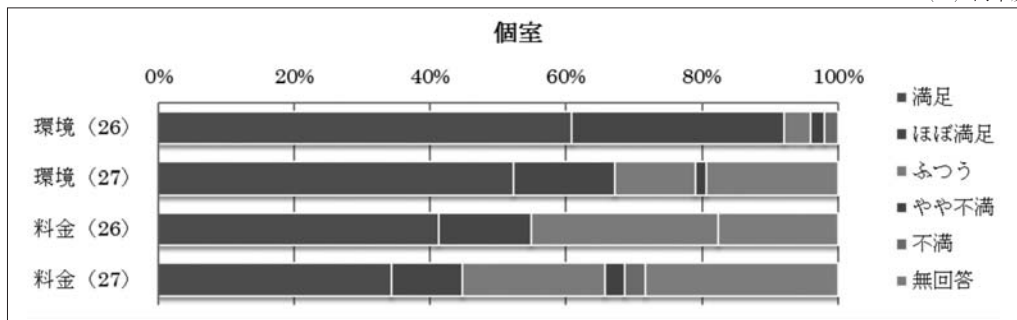


(はいと答えた人に対する質問)

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
環境 (26)	31	16	2	1	1	0
環境 (27)	35	10	8	1	0	13
料金 (26)	21	7	14	0	0	9
料金 (27)	23	7	14	2	2	19

() 内年度



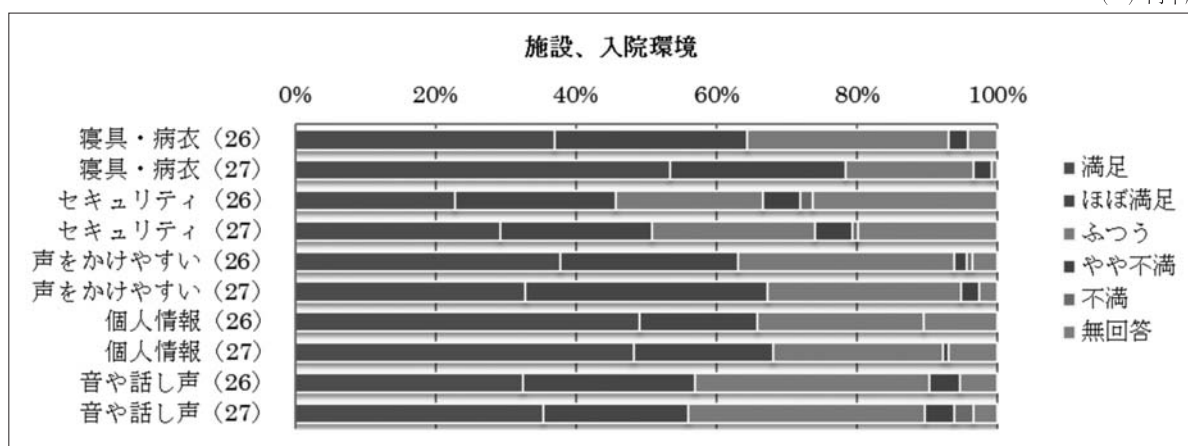
個室に関しては、環境・料金ともに満足・ほぼ満足がH26年度に比べると満足度が低くなっている。

- ⑨寝具・病衣は清潔に保たれていましたか？
- ⑩セキュリティカードでの出入りはいかがですか？
- ⑪オープンカウンターで、職員に声をかけやすくなりましたか？
- ⑫オープンカウンターからの音や話し声はいかがですか？

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
寝具・病衣 (26)	57	23	13	4	3	4
寝具・病衣 (27)	71	31	22	1	0	2
セキュリティ (26)	38	24	19	3	1	19
セキュリティ (27)	45	19	24	4	3	32
声をかけやすい (26)	51	27	19	1	1	5
声をかけやすい (27)	46	35	28	3	0	15
音や話し声 (26)	41	35	24	2	2	0
音や話し声 (27)	44	33	28	5	1	16

() 内年度



全体的にH26年H27年度と大きな変化は見られなかったが、H27年度の方が満足・ほぼ満足の割合が高くなっている。

(2) 入退院について

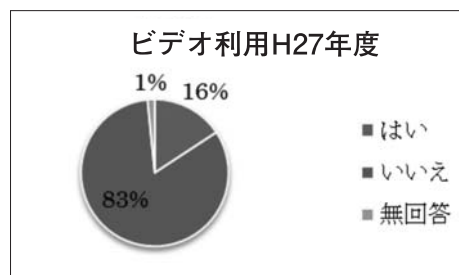
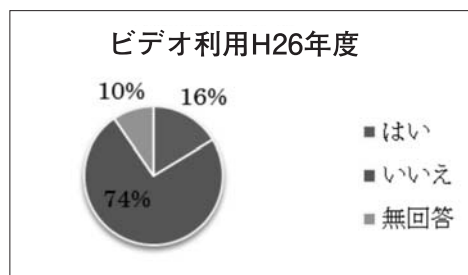
- ①入退院受付での説明はいかがですか？
- ②病室で入退院のビデオをご覧になりましたか？
 - (ア) 入院生活に役立ちましたか？
 - (イ) 内容はいかがですか？
- ③面会について
 - (ア) 面会時間はいかがですか？
 - (イ) お見舞いの方がいらした場合は、スタッフは了解を得てからご案内しています

説明 () 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
説明 (26)	36	17	35	4	1	11
説明 (27)	34	33	32	3	0	25

ビデオ

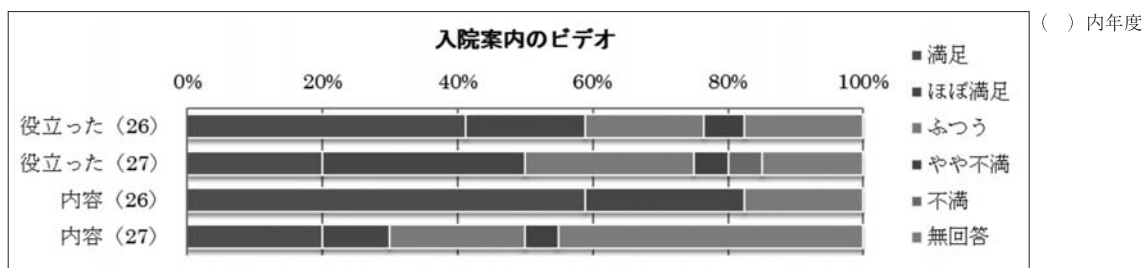
ビデオ	H26年度	H27年度
はい	17	20
いいえ	77	105
無回答	10	2



(はいと答えた人に対するの質問)

() 内年度

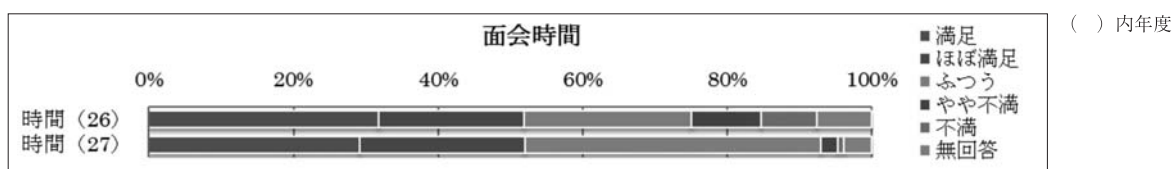
	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
役立った (26)	7	3	3	1	0	3
役立った (27)	4	6	5	1	1	3
内容 (26)	10	4	3	0	0	0
内容 (27)	4	2	4	1	0	9



説明

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
説明 (26)	36	17	35	4	1	11
説明 (27)	34	33	32	3	0	25

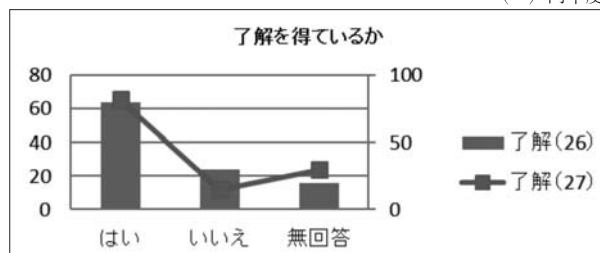


入院患者の満足度調査結果

() 内年度

	はい	いいえ	無回答
了解 (26)	64	24	16
了解 (27)	82	15	30

() 内年度



入院時のビデオを見た人は、H26年度については17名、H27年度は20名と共に少なく、いいえの回答が多いことが分かる。

原因として、SDカード枚数不足により手間がかかり煩雑化するため使用度が減少していると思われる。患者さんにとっては、入院して落ち着いた時にいつでも見ることができるよう工夫を考える必要がある。

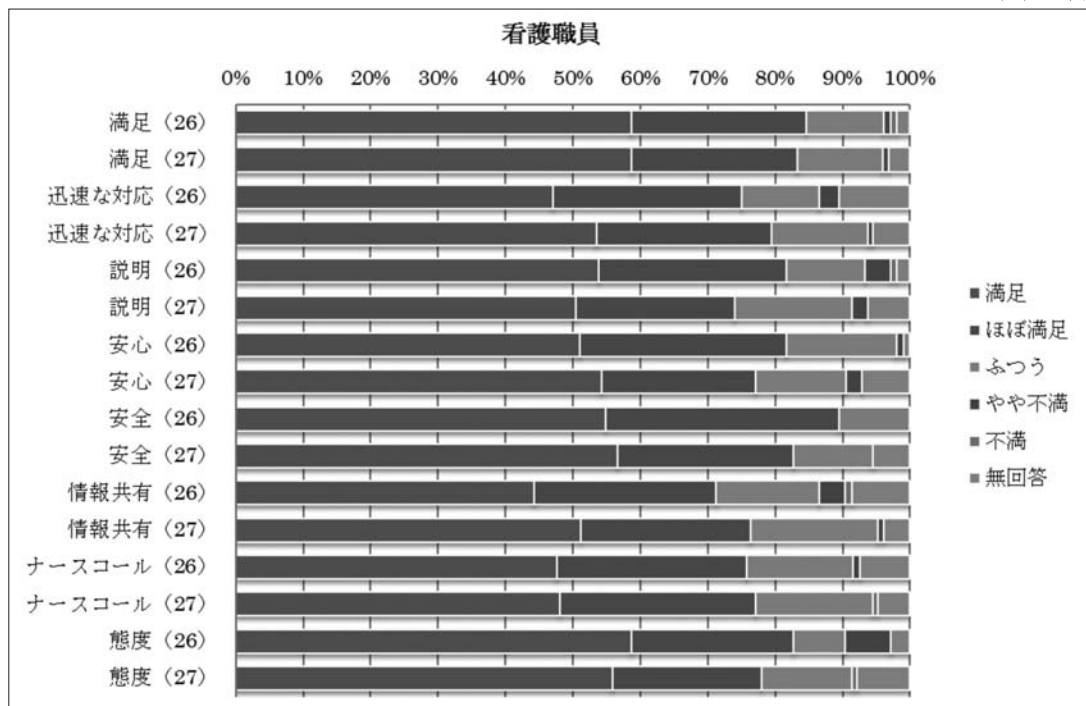
(3) 看護職員について

- ① 満足のいく看護が受けられていますか？
- ② 悩みや相談に迅速に対応してくれていますか？
- ③ 病気・検査・入院生活に関して、分かりやすい説明がされていますか？
- ④ 安心できる関わりでしたか？
- ⑤ 安全に配慮されていましたか？
- ⑥ 他の職員と適切に情報が共有されていましたか？
- ⑦ ナースコールを押してから看護師が何うまでの時間はいかがでしたか？
- ⑧ 言葉づかい・身だしなみ・態度はいかがでしたか？

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
満足 (26)	61	27	12	1	1	2
満足 (27)	74	31	16	1	0	4
迅速な対応 (26)	49	29	12	3	0	11
迅速な対応 (27)	68	33	18	1	0	7
説明 (26)	56	29	12	4	1	2
説明 (27)	64	30	22	3	0	8
安心 (26)	53	32	17	1	0	1
安心 (27)	69	29	17	3	0	9
安全 (26)	57	36	11	0	0	0
安全 (27)	72	33	15	0	0	7
情報共有 (26)	46	28	16	4	1	9
情報共有 (27)	65	32	24	1	0	5
ナースコール (26)	51	30	17	1	0	8
ナースコール (27)	61	37	22	0	1	6
態度 (26)	61	25	8	7	0	3
態度 (27)	71	28	17	0	1	10

() 内年度



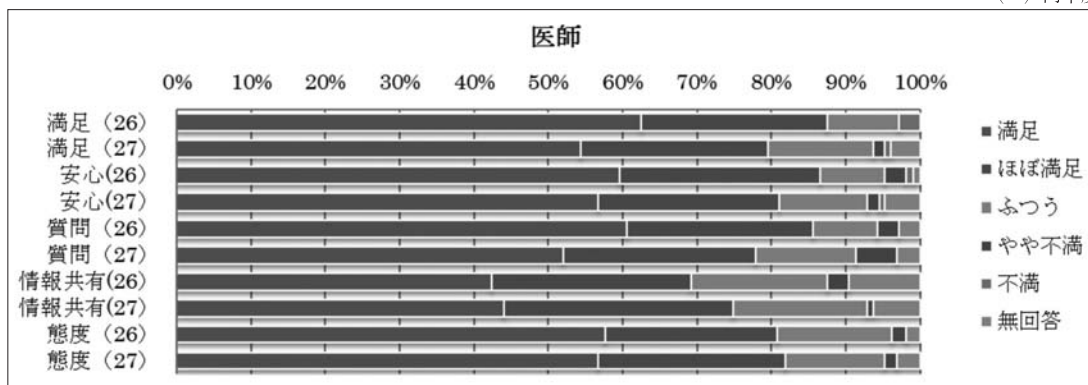
看護職員については、それぞれ満足、ほぼ満足が上昇しているが、中でもナースコール、情報共有では、やや不満、不満を感じている人が1割程度いることが分かる。

(4) 医師について

- ① 満足のいく治療が受けられていますか？
- ② 安心して医療を受ける事が出来ましたか？
- ③ 医師は質問しやすい雰囲気でしたか？
- ④ 他の職員と適切に情報が共有されましたか？
- ⑤ 言葉づかい、態度、身だしなみはいかがですか？

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
満足 (26)	65	26	10	0	3	0
満足 (27)	69	32	18	2	1	5
安心(26)	62	28	9	3	1	1
安心(27)	72	31	15	2	1	6
質問 (26)	63	26	9	3	0	3
質問 (27)	66	33	17	7	0	4
情報共有(26)	44	28	19	3	0	10
情報共有(27)	56	39	23	1	0	8
態度 (26)	60	24	16	2	0	2
態度 (27)	72	32	17	2	0	4

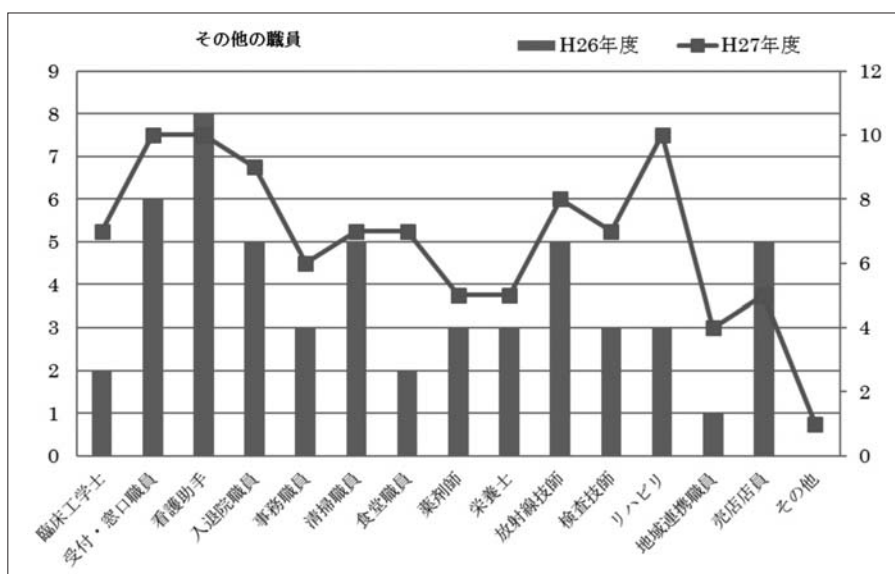


全体の全項目で医師・看護師に対する満足度は昨年同様、高い結果となった。

(5) その他の職員

①言葉づかい・態度・身だしなみで気になる職員がいましたら、チェックしてください

	H26年度	H27年度
臨床工学士	2	7
受付・窓口職員	6	10
看護助手	8	10
入退院職員	5	9
事務職員	3	6
清掃職員	5	7
食堂職員	2	7
薬剤師	3	5
栄養士	3	5
放射線技師 (レントゲン・CT/MR等)	5	8
検査技師 (心電図・エコー等)	3	7
リハビリ	3	10
地域連携職員	1	4
売店店員	5	5
その他	0	1



受付・窓口職員、入退院職員、事務、放射線技師、リハビリ、地域連携室、検査科等様々な職種に気になる職員がいる事が明らかとなった。これらが高くなっているのは、患者さんとの接する機会が増えていると考える。病院全体で、職員接遇研修や挨拶運動などへの積極的参加を周知する必要がある。

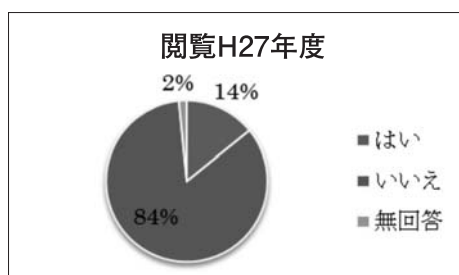
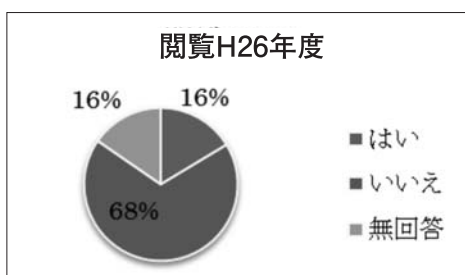
(6) ホームページについて

①当院のホームページをご覧になりましたか？

(ア) 情報提供の内容は十分でしたか？

(イ) 適切な時期に更新されていましたか？

	H26年度	H27年度
はい	17	18
いいえ	71	107
無回答	16	2

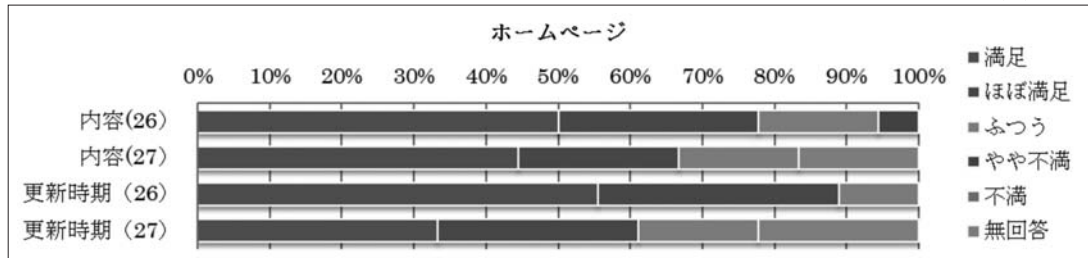


(ホームページを閲覧した18名の回答)

() 内年度

	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
内容 (26)	9	5	3	1	0	0
内容 (27)	8	4	3	0	0	3
更新時期 (26)	10	6	2	0	0	0
更新時期 (27)	6	5	3	0	0	4

() 内年度



ホームページの内容の満足度が減少し、さらに無回答が多い事から、アンケート対象者が60歳以上と多くホームページを閲覧していない現状が考えられる。患者が知りたい内容や情報の部分では今年度からホームページを新しくしているので、閲覧する人の関心に眼を向けた内容検討などが必要である。

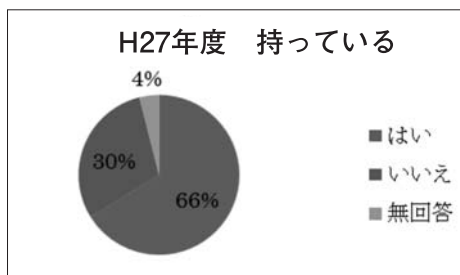
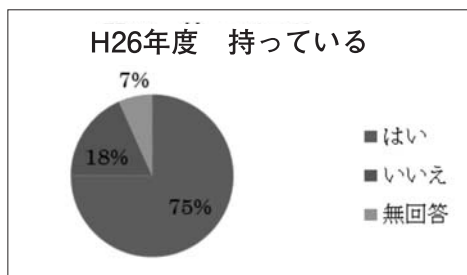
次年度は何故見ていないのか、理由などを詳しく聞く事や、病院のどのような情報が知りたいのかなどを質問の中に入れていく。

(7) 携帯電話について

①持っている

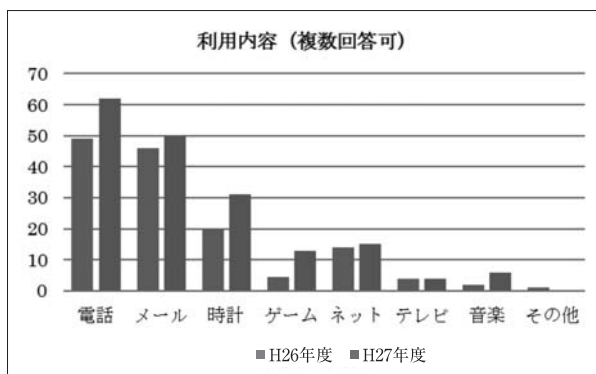
	H26年度	H27年度
はい	78	84
いいえ	19	38
無回答	7	5

入院患者の満足度調査結果



②利用内容（複数回答可）

	H26年度	H27年度
通 話	49	62
メール	46	50
時 計	20	31
ゲーム	3	13
ネット	14	15
テレビ	4	4
音 楽	2	6
その他	1	0

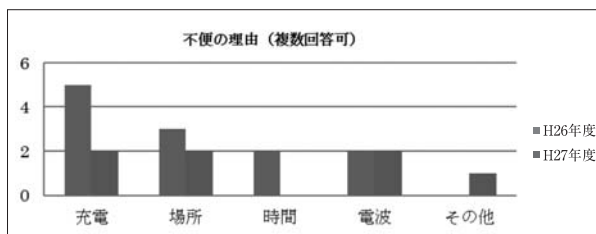


②利用内容（複数回答可）

	H26年度	H27年度
は い	11	7
いいえ	70	77
無回答	23	43

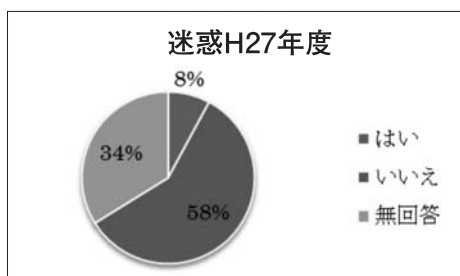
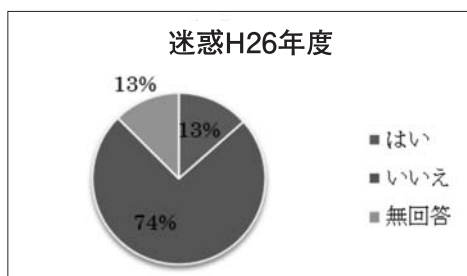
③不便な理由（複数回答可）

	H26年度	H27年度
充 電	5	2
場 所	3	2
時 間	2	0
電 波	2	2
その他	0	1



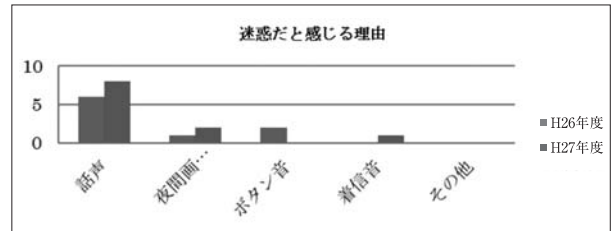
④迷惑

	H26年度	H27年度
は い	14	10
いいえ	77	74
無回答	13	43



⑤迷惑と感じる理由

	H26年度	H27年度
話 声	6	8
夜間画面の明るさ	1	2
ボタン音	2	0
着信音	0	1
その他	0	0

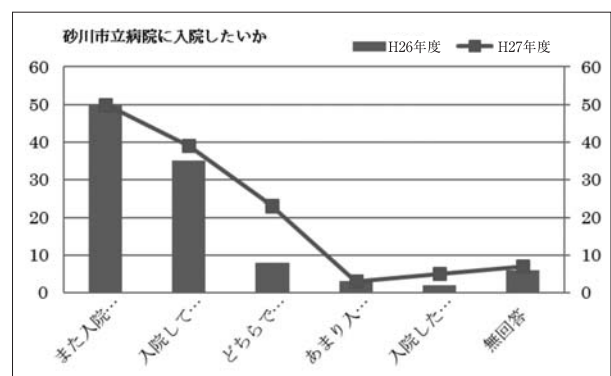


携帯電話については、高齢者でも携帯を持っている人が増えていて、社会的に携帯電話についてのマナーが定着してきているためか、病院でも迷惑だと感じている人は少ない。

また、携帯電話の使用場所の周知が、各病棟で行われている結果と思われる。

(8) 砂川市立病院を勧めますか

	H26年度	H27年度
また入院したい	50	50
入院しても良い	35	39
どちらでもない	8	23
あまり入院したくない	3	3
入院したくない	2	5
無回答	6	7



Ⅲ. 考察

患者満足度調査の結果は、Ⅰ. 施設・入院環境については大きな変化は見られていない。Ⅱ. 入院についてビデオの閲覧が減少している事は、昨年同様の結果である。入院時オリエンテーションにビデオ閲覧を入れているが、SDカードの枚数不足や、患者の見たい時に見る事が出来ないという事も、原因の一つと考える。予算を立ててSDカードの枚数を増やすことや、外来待合ロビーにビデオを流しておくなどの、工夫も必要である。

Ⅲ. 看護職員について、Ⅳ. 医師について、Ⅴ. その他の職員については看護師や医師に対する不満などはなくむしろ満足・まあまあ満足が70%を占めている。しかしその他の職員に関しては、気になると答えた解答が増えてきていると感じる。今後、病院として接遇研修等の実施と働きかけが必要である。

Ⅶ. ホームページについては、今年から新しくなり、市民がホームページで知りたい内容や、病院が市民に伝えたいことを都度更新しているが、今後も最新情報を掲載していくことが必要である。

Ⅶ. 携帯電話については、使用頻度は高く、入院中の高齢者もほとんどが携帯されている。携帯電話の使用場所の指定周知や個室利用患者が多くいることや、社会的に携帯電話のマナーが定着してきており、気にする人や不満などが減少していると考ええる。

患者満足度調査は、毎年実施しているが、患者がどのような事に満足しているのか、どのような事に不自由しているのか、ある程度把握する事が出来た。しかし患者のニーズが多様化する中で看護師として取り組んでいかなければならない課題も多くある。アンケートの内容を見直し、より患者が満足するような環境や看護ケアが提供できるように、検討・工夫・改善していくことが求められている。

Ⅳ. まとめ

患者満足度調査が有効に実施・検討されるためには、①実施方法や調査内容項目の検討②継続的な実施・検証が必要である。

2014年度 学術・学会活動記録

Academic publication 2014

【内 科】

◆学会・研究会発表

1. 気管支鏡/皮下結節生検にて診断、治療開始後にALPフレア現象を呈したALK陽性肺腺癌の一例
(第37回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 京都市 2014.4.15)
渡部 直己 鎌田 啓祐
2. ALK陽性肺癌の2例
(第55回日本臨床細胞学会総会 横浜市 2014.6.7)
椎名 真一 堀江 孝子 渡部 直己
岩木 宏之
3. 異なるEGFR遺伝子変異の結果から転移ではなく、左右に多発したと術前に判断した多発肺癌の1例
(第55回日本肺癌学会学術集会 京都市 2014.11.14)
渡部 直己 椎名 真一 松本 宗大
渡辺 敦
4. 犬咬傷後のTSSの一例
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)
西嶋 修平 岸野 宏貴

【循環器内科】

◆学会・研究会発表

1. 心房細動治療に関する循環器専門医への疑問に対する回答
(学術講演会 滝川市 2014.6.5)
清水 紀宏
2. たこつぼ型心筋症 典型例・非典型例の臨床像の差異
(第62回日本心臓病学会学術集会 仙台市 2014.9.27)
更科 美羽 平林 高之 前川 聡
森本信太郎 本間 之子 吉谷 敬
清水 紀宏
3. 適正な抗凝固療法へのヒント～大規模臨床試験を紐解く～
(空知地区Network Meeting 滝川市 2014.10.23)
平林 高之
4. たこつぼ型心筋症 典型例・非典型例の臨床像の差異
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)
更科 美羽 千葉 泰之 正木 芳宏
本間 之子 清水 紀宏 平林 高之
5. 環器内科医から見た心房細動治療の現状
(空知不整脈カンファレンス 滝川市 2014.11.27)
正木 芳宏

6. 急性心不全を発症した若年高度肥満の2例
(第273回北海道地方会 札幌市 2015.2.7)

更科 美羽 千葉 泰之 正木 芳宏
本間 之子 清水 紀宏 平林 高之

7. 食道気管支瘻を来した食道癌に食道ステントが有効だった1例
(第273回北海道地方会 札幌市 2015.2.7)

甲谷 太郎 武井 望 野村 昭嘉
渡部 直己 松本 宗大 岸野 宏貴
廣海 弘光 吉田 行範 日下 大隆
小熊 豊

8. Hybrid procedure for acute limb ischemia ~The combination of thrombectomy and endovascular therapy
(Japan Endovascular Treatment Conference (JET) 2015 大阪市 2015.2.20)

本間 之子

【外 科】

◆学会・研究会発表

1. 呼吸困難となった食道癌縦隔リンパ節再発の1例
(第32回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2014.5.28)

伊坂 五紗

2. ハイパーサーミア (温熱療法について)
(第25回がんの市民講座 砂川市 2014.5.31)

田口 宏一

3. 残瘻再発切除症例に対する検討
(第26回日本肝胆膵外科学会・学術集会 和歌山市 2014.6.11)

廣方玄太郎

4. 化学療法が無効のstageⅣのがん患者に対するハイパーサーミアの効果とQOLの評価
(第19回日本緩和医療学会学術大会 神戸市 2014.6.20)

田口 宏一 野々宮ゆかり
鈴木 幸枝 高橋 里佳 森 佳子

5. 103歳急性胆嚢炎の手術例
(第105回日本臨床外科学会北海道支部総会 函館市 2014.7.5)

巖築 慶一 田口 宏一 横田 良一
廣方玄太郎 杉山 昂 柴田 賢吾

6. 右肺癌術後に消化管出血により摘出した十二指腸GISTの症例
(第33回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2014.9.1)

舘澤 諒大

7. 洗浄細胞診陽性胃癌切除後約2年目に播種によるサピレウスのための上行結腸を切除した1例
(第33回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2014.9.1)

天野紗緒理

8. 術前化学療法後多発肺転移が消失し、根治的切除し得たStageⅣ直腸癌の一例
(第101回北海道外科学会 札幌市 2014.9.6)
- 柴田 賢吾 巖築 慶一 廣方玄太郎
横田 良一 田口 宏一 岩木 宏之
9. 腋窩リンパ節転移より発見した乳癌の一例
(第12回空知乳癌ワークショップ 滝川市 2014.10.30)
- 柴田 賢吾
10. 化学療法が無効のStageⅣのがん患者に対するハイパーサーミアの効果とQOL評価
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)
- 田口 宏一
11. 当科における腹腔鏡下肝切除導入の試み
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)
- 廣方玄太郎 柴田 賢吾 巖築 慶一
横田 良一 田口 宏一
12. 腹腔鏡下に修復した大網捻転を伴う右単径ヘルニアの一例
(第106回日本臨床外科学会北海道支部例会 札幌市 2014.11.29)
- 巖築 慶一 柴田 賢吾 廣方玄太郎
横田 良一 田口 宏一
13. ERASプロトコルを取り入れた術前・術後管理の工夫
(第21回外科集談会プログラム 札幌市 2014.12.6)
- 横田 良一
14. 当施設におけるイレウス手術に対する腹腔鏡手術の導入
(第102回北海道外科学会 札幌市 2015.2.21)
- 柴田 賢吾 巖築 慶一 廣方玄太郎
横田 良一 田口 宏一
15. 当院における腹腔鏡下幽門側胃切除
(第4回手術ビデオ鑑賞会 札幌市 2015.3.5)
- 廣方玄太郎
16. 胃穿孔の一治療例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.5)
- 天野紗緒理
17. PEG増設後の急性汎発性腹膜炎に対する腹腔鏡下手術の一例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.5)
- 西尾 卓哉
18. 審査腹腔鏡が診断に寄与した特発性腸間膜気腫症の一例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.5)
- 田仲 大樹

19. 腹部刺創に対し、緊急審査腹腔鏡を施行した1例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.6) 舘澤 諒大
20. closed-loop型腸閉塞の一例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.6) 伊坂 五沙
21. 外傷性上腸間膜動静脈損傷の一例
(第51回日本腹部救急医学会総会 京都市 2015.3.6) 柴田 賢吾
22. ビデオクリニック
(Winter Seminar2015第21回学ぶ会 千歳市 2015.3.14) 巖築 慶一

【脳神経外科】

◆学会・研究会発表

1. 経鼻内視鏡手術用バイオネット型剪刀の使用経験
(第23回脳神経外科手術と機器学会 福岡市 2014.4.19) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
2. 高齢者脊髄腫瘍の外科治療
(第27回日本老年脳神経外科学会 新潟市 2014.4.25) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
3. 硬膜内に発生した軟骨腫の一例
(第32回日本脳腫瘍病理学会 徳島市 2014.5.24) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
4. 頸動脈ステント治療後に急性期にステント内閉塞を起こした1例
(第1回日本心血管脳卒中学会学術集会 大宮市 2014.6.6) 鵜飼 亮 関 隆史 南田 善弘
5. 後期高齢者脊髄腫瘍の治療経験
(第29回日本脊髄外科学会 東京都 2014.6.13) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
6. 巨大下垂体腺腫：経蝶形骨洞手術時代における開頭術のあり方
(第26回日本頭蓋底外科学会 千葉市 2014.6.19) 南田 善弘
7. 巨大下垂体腺腫における開頭術
(第19回日本脳腫瘍の外科学会 東京都 2014.9.12) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
8. 非機能性巨大下垂体腺腫に対する外科治療：経蝶形骨洞手術ファーストの治療方針
(日本脳神経外科学会第73回学術総会 東京都 2014.10.11) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史

9. 心房細動に伴う脳梗塞予防の治療戦略
(空知不整脈カンファレンス 滝川市 2014.11.27) 関 隆史
10. 神経内視鏡手術における三次元画像と内視鏡画像による術前評価
(第21回日本神経内視鏡学会 東京都 2014.11.29) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
11. 破裂脳動脈瘤塞栓術後、退院後に発症した脳接合菌症の1例
(第30回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 横浜市 2014.12.4) 関 隆史
12. 高齢者症候性頸部頸動脈高度狭窄症に対する血行再建－当院におけるCASの方法－
(第30回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 横浜市 2014.12.4) 関 隆史
13. 術前鑑別が困難であった転移性脊髄腫瘍の一例
(第38回日本脳神経CI学会総会 名古屋市 2015.2.13) 後藤 秀輔
14. 神経内視鏡手術における三次元画像と内視鏡モードによる術前評価
(第38回日本脳神経CI学会総会 名古屋市 2015.2.13) 南田 善弘 鵜飼 亮 関 隆史
15. 経鼻内視鏡手術バイオネット型剪刀とバイポーラの使用経験
(第25回日本間脳下垂体腫瘍学会 京都市 2015.2.27) 南田 善弘 関 隆史 鵜飼 亮
16. 術前鑑別が困難であった転移性馬尾腫瘍の一例
(第44回日本神経放射線学会 名古屋市 2015.3.7) 鵜飼 亮 南田 善弘 関 隆史
17. MPO－ANCA関連血管炎の関与が疑われた若年者脳梗塞の1例
(第40回日本脳卒中学会総会 広島市 2015.3.26) 鵜飼 亮 南田 善弘 関 隆史
18. 高齢者症候性頸部頸動脈高度狭窄症に対する血行再建－当院におけるCASの方法－
(第40回日本脳卒中学会総会 広島市 2015.3.28) 関 隆史 鵜飼 亮 南田 善弘

【形成外科】

◆学会・研究会発表

1. 第2－4趾の非典型的な癒合趾に対し手術を行った1例
(第2回北海道・東北形成外科学会学術集会 札幌市 2014.7.12) 加藤 慎二 須田 徹也
2. ガベキサートメシル酸塩を抹消より希釈せず注射したため生じた皮膚潰瘍の症例
(第6回日本創傷外科学会総会・学術集会 高松市 2014.7.24) 須田 徹也

3. 小耳症手術における肋軟骨剪刃の開発
 (第20回日本形成外科手術手技学会 鎌倉市 2015.2.21)

鈴木 明世

【整形外科】

◆学会・研究会発表

1. 坐骨神経部分紮モデルにおけるメタロチオネイン発現の経時的変化
 (第29回日本整形外科学会基礎学術集会 鹿児島市 2014.10.9)

藤田 安詞 和田 卓郎 射場 浩介
 大木 豪介 山下 敏彦 今井 伸一
 小海 康夫

2. Bicompartmental knee Arthroplastyの一例
 (空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)

小幡 浩之 藤田 安詞 吉本 正太
 伊谷 純一 宮野 須一

【心臓血管外科】

◆学会・研究会発表

1. 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術、連続89例の検討
 (第55回日本脈管学会総会 倉敷市 2014.10.31)

橋口 仁喜 佐々木昭彦

2. 開窓型弓部大動脈ステントグラフトNajuta10例の検討
 (第45回日本心臓血管外科学会学術総会 京都市 2015.2.16)

橋口 仁喜 佐々木昭彦

3. 胸骨プレートSternalock Blu留置におけるknack&pitfall～55例の使用経験を検討して～
 (第45回日本心臓血管外科学会学術総会 京都市 2015.2.18)

橋口 仁喜

4. 遠位弓部大動脈瘤および偽腔開存型解離性大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術(TEVAR)の経験
 (空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)

佐々木昭彦 橋口 仁喜

【泌尿器科】

◆学会・研究会発表

1. 血液型不適合腎移植後に肝細胞癌を発症しサーティカンを投与した1例
 (第13回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 2014.5.10)

柳瀬 雅裕

2. 常染色体優性多発性嚢胞腎(ADPKD)3症例に対する治療経験
 (第13回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 2014.5.10)

柳瀬 雅裕

3. 血液透析患者に対する新しい腎性貧血治療薬HIF-PH阻害剤の投与経験
 (第13回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 2014.5.10)

柳瀬 雅裕

4. IgA腎症 に対する扁桃摘除術&ステロイドパルス療法の経験
(第13回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 2014.5.10) 水野 孝祐
5. 血液透析導入後にHITを発症しヘパリン再投与に成功した4例
(第59回日本透析医学会学術集会・総会 (JSDT2014) 神戸市 2014.6.14) 五十嵐 学
6. 骨盤融合腎に発生した腎細胞癌に対して腎部分切除を施行した1例
(第30回腎移植・血管外科研究会 那覇市 2014.6.27)
岡田 学 田中 俊明 岡部 洸
松尾かりな 加藤 秀一 宮本慎太郎
北村 寛 舩森 直哉
7. 常染色体優性多発性嚢胞腎 (ADPKD) に対するソソプレシンV2受容体拮抗薬による治療経験
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20) 柳瀬 雅裕
8. メシル酸ナファモスタットによるアナフィラキシーが考えられた維持血液透析患者の1例
(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)
五十嵐 学 岡田 学 水野 孝祐
柳瀬 雅裕
9. 腎移植後の肝臓術後に難治性腹水を呈した症例に対するトルバプタンの使用経験
(第34回北海道腎移植談話会 札幌市 2014.11.22)
水野 孝祐 岡田 学 五十嵐 学
柳瀬 雅裕 横田 良一

【眼 科】

◆学会・研究会発表

1. ドライアイ患者の自覚症状と角膜知覚及び痛覚についての検討
(第118回日本眼科学会総会 東京都 2014.4.6)
田川 義晃 大口 剛司 山本 哲平
水内 一臣 田川 義継 石田 晋

【麻酔科】

◆学会・研究会発表

1. 人工膝関節置換術において関節内浸油麻酔は、術後腓骨神経麻痺を起こさず坐骨神経ブロックと同等の効果が得られる
(日本麻酔科学会学術集会 横浜市 2014.5.15) 相川 勝洋
2. デクスメトミジン鎮静下で末梢神経ブロックを併用した腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術の麻酔経験
(日本臨床麻酔学会第34回大会 東京都 2014.11.2)
久保 智紀 丸山 崇 雨森 英彦
相川 勝洋 糸洲 佑介 坂井 俊朗

3. Periarticular Infiltration Analgesia can Provide Sufficient Analgesia After Total Knee Arthroplasty without Peroneal Nerve Paralysis Comparison with Sciatic Nerve Block.

(IARS2015 ANNUAL MEETING AND INTERNATIONAL SCIENCE SYMPOSIUM ホノルル2015.3.21)

相川 勝洋

【産婦人科】

◆学会・研究会発表

1. 胎盤血管腫の一例

(第50回日本周産期・新生児医学会・学術集会 浦安市 2014.7.15)

千葉健太郎

【小児科】

◆学会・研究会発表

1. 小児初期救急医療における留意事項

(平成26年度小児救急医療地域研修会 砂川市 2014.10.21)

乙井 秀人

【救急科】

◆学会・研究会発表

1. 高血圧を主訴に救急外来を受診する患者の検討

(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)

横田 隼一 下嶋 秀和

2. パラシクロビルによると考えられた低ナトリウム血症の1例

(空知医師会集談会 砂川市 2014.11.20)

井上悠太郎 下嶋 秀和

【神経内科】

◆学会・研究会発表

1. 巨大脳髄症を伴わない嚢胞性白質脳症成人例の症候学的検討

(第55回日本神経学会学術大会 福岡市 2014.5.24)

齋藤 太郎

2. 膀胱癌術後四肢・頸部の筋力低下が遷延し、術後2カ月後に診断に至ったアジソン病の1例

(第95回日本神経学会北海道地方会 札幌市 2014.9.20)

蒲生 直希 齋藤 太郎 山内 理香

3. 無菌性髄膜炎に自律神経障害によるものと考えられる排尿障害を合併した2症例

(第272回北海道地方会 札幌市 2014.11.29)

齋藤 太郎 蒲生 直希 山内 理香
下濱 俊

【耳鼻咽喉科】

◆学会・研究会発表

1. 長期人工呼吸管理患者における気管切開の必要性

(第66回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会 高知市 2014.11.13)

安川真一郎

【看護部】

◆学会・研究会発表

1. 砂川市立病院泌尿器科外来看護師によるCKD患者に対する療法（PD、HD、腎移植）選択説明
（第13回札幌腎不全治療懇話会 札幌市 2014.5.10）
根岸奈保美 高橋 早苗
2. ICU家族ケア支援シートを活用した看護師と家族のケア提供比較と家族ニーズの重要度調査
（第10回日本クリティカルケア看護学会学術集会 名古屋市 2014.5.25）
江崎夕香里 長田 千鶴 中村 香織
細海加代子
3. 緩和ケア認定看護師としてのハイパーサーミアを担当した1事例
（第19回日本緩和医療学会学術大会 神戸市 2014.6.20）
森 佳子 田口 宏一 及川 佑介
4. 地域がん拠点病院が行う在宅看取りへの取組み
（第19回日本緩和医療学会学術大会 神戸市 2014.6.21）
森 佳子 田口 宏一 及川 佑介
岩淵 敬介 岸野 宏貴 鎌田 啓佑
5. 新人教育専門モジュール体制の基盤づくりと実践
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
我妻 明子
6. 小グループによる安全安心な環境の見直しと改善活動
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
三土智恵子
7. 臨床実習指導者と教員の連携の充実を目指して－臨床実習指導案活用の見直しを通して
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
西田 千草
8. がん化学療法を受ける患者への支援体制－患者支援ツールの作成を試みて
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
岩上香那子 佐藤 千加 山下 志織
高見明日香
9. 初療を担う看護師の内省を重視したカンファレンスの取組み
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
新村 智弘 細海加代子
10. 新人看護師に対する2度の急変対応シミュレーションの学習効果
（第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30）
土田 智也 江森 由奈 細海加代子

【薬剤部】

◆学会・研究会発表

1. 当院における持参薬に関する疑義照会内容の実態について

(第61回北海道薬学大会 札幌市 2014.5.25)

吉村 恵理 宮本 康史 新崎 祐馬
竹内 里哉 大西真奈美 上野 英文

2. 当院におけるAccessを用いた疑義照会データベースによる業務効率化と情報共有について

(第61回北海道薬学大会 札幌市 2014.5.25)

平井 まな 吉村 恵理 宮本 康史
新崎 祐馬 三藤 陽香 長谷川 俊
上野 英文

3. バイコマイシンによる腎機能障害発生のリスク因子に対する考察

(第61回北海道薬学大会 札幌市 2014.5.25)

小嶋 希望 坪田 晃司 宮本 康史
新崎 祐馬 横山 朝子 河合 祐輔
吉田 憲史 上野 英文

4. オランザピンの制吐目的での使用に対する実態調査とその有効性について

(第24回日本医療薬学会年会 名古屋市 2014.9.27)

田中 喜倫 久保田康生 熊井 正貴
齊藤 佳敬 河合 祐輔 笠師久美子
山田 武宏 上野 英文 田巻 知宏
井関 健

5. バンコマイシンによる腎機能障害のリスク因子および可逆性に関する考察

(第24回日本医療薬学会年会 名古屋市 2014.9.27)

小嶋 希望 坪田 晃司 宮本 康史
新崎 祐馬 横山 朝子 河合 祐輔
吉田 憲史 倉島 弘道 田中 喜倫
高野 陽平 上野 英文

6. 薬剤師によるオピオイド使用患者にCYP阻害・誘導薬剤が追加された際の注意喚起システムの構築

(第8回日本緩和医療薬学会年会 松山市 2014.10.4)

高野 陽平 田口 宏一 横山 朝子
平井 まな 小嶋 希望 及川 佑介
森井 佳奈 野々宮ゆかり 岡元己富美
森 佳子 上野 英文

7. 注射薬最終監査システム導入による安全性向上および業務効率化の評価

(第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30)

吉村 恵理

8. 外来における薬剤師、コーディネーター、看護師の関わり

(第34回北海道腎移植談話会 札幌市 2014.11.22)

新崎 祐馬

【栄養管理室】

◆学会・研究会発表

1. 肝切除後栄養管理の一例

(第8回日本静脈経腸栄養学会北海道支部例会 札幌市 2015.1.25)

山川 美和

【放射線科】

◆学会・研究会発表

1. Dyssynchrony評価におけるCardioGRAF複数回処理の有用性

(第24回日本心臓核医学会総会・学術大会 松山市 2014.7.19)

石川 剛

2. 最新の放射線治療について

(第26回がんの市民講座 砂川市 2014.11.22)

長谷川雅一

3. 頸動脈3D-RAにおける血流量を考慮した希釈造影法の基礎的検討

(第30回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 横浜市 2014.12.6)

増子 陽洋	阿部 憲司	菊池 孝紘
三国 孝平	松原 健一	木本 謙介
吉野 伸昭	鵜飼 亮	関 隆史

【検査科】

◆学会・研究会発表

1. ALK陽性肺癌の2例

(第55回日本臨床細胞学会総会 横浜市 2014.6.7)

椎名 真一	堀江 孝子	渡部 直己
岩木 宏之		

2. PAX8の免疫染色が原発巣推定に有用であった卵巣がんの一例

(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

椎名 真一	天間友理香	南保 匠吾
堀江 孝子	渡部 直己	武田 直毅
岩木 宏之		

3. CRP異常高値症例(30mg/dl以上)の考察

(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

鈴木 竜太	山本 紗織	有門 大介
国田 彰		

4. 逆たこつほ型心筋症の一例

(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

酒井 絵理	菅井 衣代	吉野 伸昭
荻野 優喜	渋谷 雅之	清水 紀宏

5. 当院における時間外輸血業務の現状と課題

(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

及川このみ 谷越 悠耶

6. T&S導入に向けた手術用準備血使用状況の解析
(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

谷越 悠耶 及川このみ 新崎 人士

7. 猫との濃厚接触による複数菌血流感染の一例
(第89回北海道医学検査学会 岩見沢市 2014.9.27)

松浦 由佳 斎藤 志穂 横内 好之

8. 終夜睡眠ポリグラフィー検査導入による当院の現状と課題
(第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30)

高木奈奈美 光畑 幸美 菅井 衣代
吉野 伸昭 荻野 優喜 酒井 絵理
渋谷 雅之 清水 紀宏 平林 高之

【リハビリテーション科】

◆学会・研究会発表

1. 急性期における癌リハビリテーション-在宅支援と実際-
(第32回病診連携クリニカルカンファレンス 砂川市 2014.5.28)

小野寺智和

2. 癌終末期患者に対しリハビリ専門職として何ができるのか
(第19回日本緩和医療学会学術大会 神戸市 2014.6.21)

小野寺智和 田口 宏一 森 佳子
及川 佑介

【事務局】

◆学会・研究会発表

1. 退院支援中に起きた患者と医療者の葛藤に介入したMSWの役割
(第19回日本緩和医療学会学術大会 神戸市 2014.6.21)

及川 佑介 森 佳子 小野寺智和
島崎 聡美 長谷川雅一 柳瀬 雅裕
田口 宏一

2. 外来診療順番検索・メール呼出・診療状況確認システムの導入と今後の課題
(第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.30)

坂本 和隆 青野 百美 朝日 紀博
為国 泰朗 小柳 貴敬 川端 祥子
斎藤 史治 明円 彬

3. 介護・福祉従事者が教育スタッフとなって実施する中学・高校生に対するAct-F.A.S.T.救急講習会
(第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.31)

大畑 雅宏 鵜飼 亮 関 隆史
南田 善弘 日下 大隆
齋藤 正樹 (札幌医科大学出張医)

4. 当院における脳卒中あんしん連携ノート活用の試み
(第53回全国自治体病院学会in宮崎 宮崎市 2014.10.31)

大畑 雅宏 鵜飼 亮 関 隆史
南田 善弘 日下 大隆
齋藤 正樹 (札幌医科大学出張医)

砂川市立病院医学雑誌投稿規定
(Journal of Sunagawa City Medical Center)

I. 医学関係論文

1. 本誌に掲載する論文は、砂川市立病院職員及び本誌に掲載を希望する関係者の投稿するものとする。
2. 投稿論文は原著、症例報告、総説、診療研究、その他の研究活動からなり、他誌に未掲載のものとする。
3. 掲載論文の採否及び掲載順位は編集委員会で決定する。
4. 論文形式

a) 原稿の記述の順序は以下の通りとし、それぞれの番号のところで改頁する。

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ① 和文表紙：和文の表題、所属、著者名の順に記載する。 | ② 和文要旨：400字以内の要旨を記載する。 |
| ③ 5語以内のKey Words（英語）を記載する。 | ④ 英文でタイトル、所属、著者名を記載する。 |
| ⑤ 本文「はじめに 材料と方法 結果 考案」の順に記載 | ⑥ 文献 |
| ⑦ 図、表及び図・表説明 | ⑧ 投稿総字数を表紙下部に手書きで明記 |

5. 論文の書き方

a) 原稿は和文の場合、原著、総説 8,000 字以内とする。又DVD/CD/USBでの提出の際には以下の点に注意して下さい。

- ①パソコン（Windows）の場合は、ワープロソフト（MS word）を使用することを希望します。それ以外のアプリケーションを使用するときはTEXT形式で本文を保存すること。
- ②手書き原稿は受け付けません。
- ③文字と改行だけで単純に棒打ちしてください。

b) 英文では必ずパソコンを使用し、ワープロソフト（MS word）を使用するか、それ以外のアプリケーションを使用するときはTEXT形式で本文を保存すること。1行おき28行以内で枚数は和文と同様とする。人名、地名などの固有名詞はなるべく源字を用い、最初の1字のみ大文字とする。また普通名詞は全部小文字とする。必ずnative speakerの校正を受けてください。

c) 数字は算用数字を用い、度量衡は国際単位系（SI）で記載する。

d) 論文にて繰り返される語は略語を用いても差し支えないが、初出の時は完全な用語を用いることを明記する。

e) 図（写真を含む）、表は別紙とし、図1、図2、あるいは表1、表2のように番号を付け、挿入箇所を明記する。写真は原則として白黒とし、手札サイズで印画紙に焼き付けたものとする。又、必ずデジタルデータで提出してください。カラー図・表を希望する方はカラーにて印刷し（最低1440dpiの出力を有するプリンターを使用）、同時にデジタルデータ化してください。同時にカラー図掲載の希望を委員会までお知らせください。画像の目安としては、原寸で約300dpiの解像度相当で取り込み、JPG形式で保存してください。

f) 論文本体、図（写真を含む）及び表は1セットプリントし、提出してください。

g) 引用文献

- ①文献は本文中において引用のつど番号（1）、2）、3）のように算用数字で）をうち、末尾に引用順に一括する。
- ②雑誌の場合～著者名、論文名、雑誌名 巻（号）：頁、発行年（西暦）。

【著者1名】

- 1) 谷藤順士：皮膚疾患の臨床. 臨床皮膚 12(4)：745-752, 1990.
- 2) Hawkey CJ. : COX-2 inhibitors. Lancet. 353(9149)：307-314,1999.

【著者2名以上】

- 1) 小林広幸 他：慢性関節リウマチ患者にみられた腸の潰瘍性病変. 胃と腸 26(9)：1247-1256, 1991.
 - 2) Stillman MJ. et al：Desmoplastic malignant melanoma. Int J Pathol. 24(5)：28-35, 1989.
- 外国誌は、Index Medicusの略誌名
邦文誌は、「醫學中央雑誌収載誌目録」（医学中央雑誌刊行会）による略名を使用する。

③単行本の場合～著者名、書名、版、頁、発行所、発行地、発行年。

【単行本】

- 1) 小野江為則、電顕腫瘍病理学、第2版、153-173、南山堂、東京、1986.
- 2) Murphy GP :Advances in cancer research, 2nd ed. John Wiley and Sons, New York,1990.

【単行本の1章】

- 1) 川端 真 血管縫合の実際、浜野哲男他(編)：脈管外科. 医学書院、東京、1990.
- 2) Heyes RB. et al: Histologic markers in primary and metastatic tumors of the liver. : Andreoli M, Monaco Feds. The tumor of the liver,140-150,Elsevier Science Publishers, New York,1989.

④オンライン資料の場合～著者名、題名、サイト名（URL）、最終アクセス日。

【例】岸田典子、高下恵美、藤崎誠一郎、他、国内のインフルエンザ流行株の抗原性、遺伝子系統樹解析および薬剤耐性株の検出状況－2011/12シーズン途中経過.(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/flu-iasrs/1716-pr3862-1.html>).Accessed 2012 July 20.

II. 業績について

学会活動録（地方会、総会、その他研修会=院外の集会の発表）は、筆頭演者、演題、学術集会名、日時、場所、掲載論文は、著者全員、論文名、掲載雑誌名。巻：頁一頁、発表年の順に記載し、編集委員会にDVD/CD/USB/院内メール等での提出をすること。

III. 投稿、編集などに関する問い合わせは下記とする。

〒073-0196

北海道砂川市西4条北3丁目1番1号

砂川市立病院 医学雑誌編集委員会（事務局 研修管理室）

TEL(0125)54-2131(2041)

編 集 後 記

2016年砂川市立病院医学雑誌第29巻を編集し、この度発刊することができました。

2015年度は、北海道函館市で開催された第54回全国自治体病院学会に当院から37の演題を発表するとともに、数多くの職員が参加し研鑽を深めました。

今後につきましても全職種の職員がレベルアップすることを目指し、院内外で研究発表、論文発表等を行って参ります。

砂川市立病院 医学雑誌編集委員会

委員長 柳 瀬 雅 裕

編 集 委 員 会

委員長	柳 瀬 雅 裕				
副委員長	岩 木 宏 之				
委員	孰 賀 愛 子	高 野 美 奈 子	加 藤 幸 代		
	倉 島 弘 道	坪 田 浩 未	光 畑 幸 美		
	白 川 和 樹	荒 岡 尚 徳	大 山 千 尋		
	工 藤 誠 也	佐 藤 大 作	東 恩 納 佑 輔		
	阿 部 雅 和	片 倉 寿 貴	及 川 佑 介		
	小 柳 貴 敬	大 辻 誠 司	戸 田 悦 子		
事務局	佐々木 裕 二				

砂川市立病院医学雑誌 第29巻 第1号

2016年2月19日 印刷・発行

発行人 平林 高之

発行所 砂川市立病院
北海道砂川市西4条北3丁目1番1号

印刷所 (有)アド・ワーズ
北海道砂川市東1条北14丁目1番1号